



学校における体験活動の充実
(小学校)

げんきプラザを
活用してみませんか？



【体験活動の現状と学習指導要領】

子供たちの体験活動の機会は、近年減少傾向にあり、学校における体験活動の時間数も減少しています。
学習指導要領では、自然や文化に触れる体験を通して学校における学習活動を充実させることや、校外における集団活動を通して人間関係を深めることなど、体験活動が重視されています。また、各教科等で育成をめざす資質・能力を明確にし、それを育む上で効果的な学習内容や活動を、教科等横断的な視点で組み立てるといった「カリキュラム・マネジメント」が重要であるとしています。

【体験活動の意義とカリキュラム・マネジメント】

体験活動については、様々な調査結果から次の有用性が明らかになっています。
①自然体験や生活体験が「主体的な学び」の基礎となる「自己肯定感」を高める。
②集団での活動が「よりよい人間関係を形成」し、「対話的な学び」ができる学級づくりにつながる。
③実感を伴った理解は「深い学び」につながる。
また、「カリキュラム・マネジメント」の観点からは、例えば、集団宿泊活動は、「特別活動」における「学校行事」の中の「遠足・集団宿泊的行事」（小学校）に位置付けられますが、いろいろな活動の一部について、その教育活動の位置付けを見直したり、学校での事前事後指導を適切に位置付けたりすることにより、理科や体育、道徳科等の教科、総合的な学習の時間等との関連を図ることによって、教育効果を一層高めることができます。

【集団宿泊活動を年間指導計画に適切に位置付けるためのステップ】

- ステップ1「**集団宿泊活動で行う各活動を教科等に関連付けて年間指導計画を作成**」
集団宿泊活動で育てる資質・能力を教科等横断的な視点で設定し、事前学習及び事後学習を含め年間指導計画を作成することが大切です。
- ステップ2「**集団宿泊活動実施計画の作成**」
集団宿泊活動の実施計画を作成するとともに、県立げんきプラザの活動プログラムや指導体制等を確認し、活用することが重要です。
- ステップ3「**各教科等の実施案の作成**」
各教科等に関連付けた各活動の実施案（学習指導案）を作成し、事前・事後の学校での授業と一体となった計画を作成することが効果的です。

【本リーフレットの活用にあたって】

県教育局市町村支援部生涯学習推進課 課長 高津 導

このたび、県教育委員会では、学校における体験活動の推進を目指し、げんきプラザで行える体験活動を教科に関連付けて実施できるプログラムを開発しました。

本リーフレットを各学校の実態に合わせて活用いただき、げんきプラザの多様な資源を活用した体験学習が実施されることにより、「主体的・対話的で深い学び」や「カリキュラム・マネジメント」が実現されることを願っております。

プログラム開発にあたりご協力いただきました小学校の皆様、また、埼玉県体験活動推進協議会の各委員に厚くお礼申し上げます。

【埼玉県体験活動推進協議会各委員から（五十音順）】

國學院大人間開発学部 准教授
青木 康太郎氏

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の一つとして、教科等の特質に応じた体験活動の実施が求められています。どうやって体験活動を実施すればいいのか悩んでいる学校には、げんきプラザとの連携をおすすめします。げんきプラザの質の高い体験活動を活用することで、子供たちの学びもきっと深まるはずですよ。

県立加須げんきプラザ 所長
今井 久典氏

今回の体験活動のモデルプランは、教科等との関連を図ることによって教育効果を一層高めることができるものとなっています。学校での集団体験活動はよりよい人間関係を形成し、対話的な学びができる学級づくりにつながります。本リーフレットを有効に活用いただき、各学校において体験活動がより活発に行われることを願います。

県教育局市町村支援部義務教育指導課
教育指導幹 牛久 裕介氏

「体験活動を取り入れて『主体的・対話的で深い学び』の視点から計画を見直したい。」「多様な関わりを通して豊かな心を育みたい。」このような先生方の想いを実現するプログラムが、げんきプラザにはあります。教育課程に位置付き教室での指導と関連付いた学びで、子供の笑顔を引き出すために、プログラムを活用してください。

県立大滝げんきプラザ 所長
佐國 勝氏

本リーフレットは、げんきプラザにおける「質の高い体験活動」や協力校の体験と声を掲載した「モデルプラン」など先生方にとって参考となるものです。主体的・対話的で深い学びの視点から、げんきプラザを活用するイメージを膨らませ、学校や児童・生徒の実態にあった学びのある体験活動が推進できることを期待します。

公益財団法人キープ協会 事業部長
鳥屋尾 健氏

「体験」をすると、子供たちの心がわくわくし、「?!」「!」がたくさんうまれてきます。心の中にもうまれた「?!」「!」が日々の学びとつながっていくと、それはしっかりとした力となっていきます。今回の体験活動のモデルプランを、各校の状況にあわせ、うまくアレンジしていただく。

【げんきプラザの利用案内】

施設名	所在地・相談窓口	施設概要	学校向けの主な活動プログラム
加須げんきプラザ	〒347-0032 加須市花崎456 0480-65-0660	【宿泊人数】 ・100名（宿泊室100） 【主な保有施設】 ・体育館、テニスコート	・人間関係づくりプログラム ・情報モラル、情報リテラシー向上のためのスマホ講座 ・フィールドワーク ・その他（手打ちうどん・シザ作り体験）
大滝げんきプラザ	〒369-1901 秩父市大滝5944-2 0494-55-0014	【宿泊人数】 ・418名（宿泊室400、テント18） 【主な保有施設】 ・体育館、天文台	・大滝さすなプログラム ・星空学習 ・林業体験 ・焼き板体験
長瀬げんきプラザ	〒369-1312 秩父郡長瀬町井戸387 0494-66-0177	【宿泊人数】 ・140名（宿泊室100、テント40） 【主な保有施設】 ・体育館	・環境学習 ・防災学習 ・ハイキング ・クラフト体験
小川げんきプラザ	〒355-0337 比企郡小川町木呂子561 0493-72-2220	【宿泊人数】 ・265名（宿泊室150、テント15、バンガロー100） 【主な保有施設】 ・活動センター、プラネタリウム、天体観測室	・プラネタリウム ・星空観察 ・星座スタンプラリー ・クラフト体験
神川げんきプラザ	〒367-0234 児玉郡神川町池田756 0495-77-3442	【宿泊人数】 ・136名（宿泊室100、テント36） 【主な保有施設】 ・体育館、グラウンド、アドベンチャー教育	・アドベンチャー教育プログラム ・アドベンチャーポイントラリー ・火おこし体験 ・クラフト体験
名栗げんきプラザ	〒357-0111 飯能市上名栗1289-2 042-979-1011	【宿泊人数】 ・396名（宿泊室200、テント120、バンガロー76） 【主な保有施設】 ・プラネタリウム	・プラネタリウム ・天体学習（太陽・月） ・グループチャレンジ ・クラフト体験



集団宿泊活動は、各教科等で身に付けた「資質・能力」を、総合的に活用して実践する場です。例えば、学校での学習（事前と事後）を組み合わせることで、社会や理科、道徳科等の教科等横断的な視点での学習を展開することが可能です。また、事前の学習で問題意識を持たせることで、集団宿泊活動での追究活動が主体的になったり、事後の学習として、学習した成果を保護者などに発表する場にするなどで表現力を高めたり、自信を付けたりすることができ、各教科等で身に付ける「資質・能力」をさらに高めることができます。下の展開例を参考に、学校の実態に応じて調整し活用してください。

試行事業 大滝げんきプラザ 「秩父市立西小学校 第5学年」

何を学ぶか

【単元名】「SDGs について考えよう」
 【目標】体験活動と関連させながら、森林資源が果たす役割や環境保全について、また、SDGs について理解を深めることができる。

【学習過程と活動の流れ（教科等横断的な視点での学習の展開）】

総合的な学習の時間
SDGs

学校での事前学習【6時間】課題の把握、設定、情報収集
 総合 ・学習の見通しの把握 ・取組について調べる ・大滝げんきプラザで行う体験活動を知る
 道徳 ・自然愛護「もったいない」

施設での体験学習【9時間】課題の追求、解決
 総合 ・新作り体験 ・屋外炊事でのカレーライス作り ・焼き板体験
 学級活動 ・キャンプファイアで仲間づくり

学校での事後学習【6時間】整理・分析、まとめ・表現
 総合 ・ポスターセッション
 社会 ・単元「わたしたちの生活と森林」
 理科 ・単元「流れる水の働きと土地の変化」



【育成する資質・能力】

何が育まれるようになるか

- 【知識及び技能】 ・生活の中での SDGs とのつながりについて理解し、自分ができる SDGs についての課題を設定することができる。
- 【思考力・判断力・表現力等】 ・収集した情報を整理し、体験活動等を通じて、自分たちができる SDGs について考え、活用することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ・調べ学習、体験活動を通じて、SDGs について自分ができることを考え、よりよい解決に向けて工夫しようとしている。

【教科等に関連付けた体験活動プログラム実施校 先生・児童からの声】

事前に屋外炊事や焼き板体験の動画を視聴したことで、子供達が活動の目的と見通しを持ち、宿泊学習に臨むことができた。(先生)

児童が新作り体験で作った薪を炊事用として使うことで、事前に学習した SDGs や資源活用のつながりを実践的に学ぶことができた。(先生)

事後学習では、宿泊学習での学びを基盤に、さらに深く SDGs について調べていく姿勢が見られた。そして、実践しようという気持ちを持つことができた。(先生)

宿泊学習で行う体験活動の目的や内容を事前学習で知ることができた。また実際に使う道具を見て触って、宿泊学習が楽しくなった。(児童)

体験学習で経験したことと SDGs との関わりが気付くことができた。また、物を大切にすることは、こんなに気持ちの良いことと知ることができた。(児童)

今回の学習を通じて、世界には、たくさん困っている人がいることが分かり、自分がそのためにできることがあることもわかった。(児童)

※本試行事業は、SDGs をテーマとしています。他のテーマとしては、環境教育、情報教育等も考えられます。学習内容と体験活動の結び付けについては、直接、大滝げんきプラザへご相談ください。



※本試行事業の「学習指導案・ワークシート等」はこちら

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の展開例

学校における体験活動の一つとして、学校へげんきプラザの職員が出向き、学びを深める学習を展開することが可能です。例えば、事前に教職員を対象とした研修を行い、本時の体験活動の指導に当たる教員とげんきプラザの職員が、それぞれの専門性を生かした役割分担を行うことで、より質の高い教育活動を展開することができます。また、体験活動で実践したことを事後の学習につなげることで、教育効果をさらに高めることができます。下の展開例を参考に、学校の実態に応じて調整し活用してください。

試行事業 加須げんきプラザ 「熊谷市立三尻小学校 第4学年」

何を学ぶか

【単元名】「よりよい人間関係をつくらう」
 【目標】人間関係づくりプログラムを中心とする様々な体験活動（アクティビティ）を通じて、児童が互いに協力しながら問題解決を図り、「よりよい人間関係」を形成することができる。

【学習過程と活動の流れ（教科等横断的な視点を取り入れながら）】

事前
本時
事後

教職員を対象とした人間関係づくりプログラム研修
 教職員による実践 体育 【学びに向かう力、人間性等】 学習への意欲づけ、友達の良さに気付く
 道徳 ④【相互理解・寛容】 ⑤【より良い学校生活、集団生活の充実】

体験活動【4時間】特別活動【学級活動】・よりよい人間関係の形成
 ・ピーニング（事前）：個人やグループでの目標設定とその実現に向けた計画作成
 ・アクティビティ：人間関係づくりプログラムの実践、よりよい人間関係形成のための資質を習得
 ・ピーニング（事後）：振り返り、目標に対する達成度の把握

教職員による実践 総合 異学年交流（縦割り活動）
 の中での実践
 特別活動 学級活動における実践



【育成する資質・能力】

何が育まれるようになるか

- 【知識及び技能】 ・よりよい人間関係を形成するために他者と協働して取り組むことの意義を理解できる。
- 【思考力・判断力・表現力等】 ・よりよい人間関係を形成するために、集団内で意見交換を行うことで合意形成を図り、協力して行動することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者の考えや意見を肯定的に捉え、尊重することで、よりよい人間関係を形成しようとしている。

【体験活動プログラム実施校 先生・児童からの声】

児童の振り返りでは「友達の話が聞かないと上手くできない」「声を掛け合うと楽しくできた」など、大切な気づきがたくさんあった。(事後：先生)

体育科の学習の中で、「仲間と励ましあうための言葉かけを考える」など、今回学んだプログラムを生かして指導を行った。(事後：先生)

学習の振り返りの際に、友達の活動の良さに触れて記述する姿が増えてきた。教員も意識して振り返りを実施するようになった。(1か月後追跡調査：先生)

仲間へのプラスの言葉を使えるようになってよかった。今日できた関係を、今後も大切にしていきたい。(事後：児童)

同じクラスだけでなく、違うクラスの子とも仲よくなれて良かった。みんなで声をかけあい協力できた。(事後：児童)

この体験活動で、好きなものが共通している友達をたくさん見つけることができ、男女関係なく楽しくできた。(事後：児童)

※今回は、特別活動で実施しましたが、他の教科（総合的な学習の時間等）でも実施可能です。教員研修等にも活用できます。



※本試行事業の「学習指導案・ワークシート等」はこちら